

そよ風

第6号

今治市立立花中学校

～心の根～

『セトモノ』
相田みつを

セトモノと
セトモノと
ぶつかりっこすると
すぐこわれちゃう
どっちか
やわらかければ
だいじょうぶ
やわらかいところを
もちましよう
そういうわたしは
いつもセトモノ

数年前、テレビのCMで、相田みつをさんの『セトモノ』の詩が使用されていました。セトモノは、一つひとつを見ればとても立派な器です。値段が付かないような高価な物もあります。しかし、集団となればどうでしょうか。セトモノ同士がぶつかり合うと、すぐに壊れてしまいます。『人間関係も同じです。人格に優れ、社会的地位もあり、経済的にも恵まれている。しかし、相手の気持ちを思いやることができず、寂しい人生を送っている人もいます。人間にとって大切なものは何か。それは、相手の気持ちを思いやり、優しい気持ちを持つこと……。』というメッセージが込められているように思います。

みなさんが生活している立花中学校ではどうでしょうか？

『言葉』の中に、『表情』の中に、『行動』一つひとつに、相手を思いやる心にあふれているでしょうか。言葉が足らず人間関係が上手くいかなかったり、知らず知らずのうちに言葉で人を傷つけたり……。時には、人を攻撃するために傷

つける言葉をわざと使ったり・・・。そのようなことが、みなさんの身の回り
にないでしょうか・・・。

人権学習をした時は、心の中にしっかりとしたものがありますが、その場限り
になってしまうことがほとんどです。その場限りにならないように『心の根』に
落とし込んでください。『心の根』、大切なことは目に見えないものです。『相田
みつを』さんの詩『花を支える枝』のように、表には出てこない『心の根』を大
切に。

『花を支える枝』
相田みつを

花を支える枝
枝を支える幹
幹を支える根
根はみえねえんだなあ

私たちは、人の差別や偏見に対しては敏感ですが、自分の差別意識や偏見には
気付きにくい部分を持っています。人権に関する様々な課題に、「これはおかし
い」と、差別意識の存在に「気付く感性」を持つことが必要です。それは周りに
対してだけでなく、自分の差別意識にも気付くことが大切です。

本校では、11月25日（金）に『人権参観日』が予定されています。保護者
の皆様も、ぜひ子ども達と一緒に、人権感覚を磨いてみませんか？

